

第35回旭城祭

カメカメワールド・三杉川水族館

来場者415名達成



平成23年8月27日（土）、創立110周年記念「第35回旭城祭」が開催された。生物部の今年の展示のメインは、恒例となった「カメカメワールド」（生物部の4年間にわたる研究紹介）と「三杉川水族館」である。また、午前部では「ヌマガエルの解剖」（加藤部員の執刀）、午後部では「クサガメの解剖」（部長の執刀）」というイベントが催された。その他、K部員によるクマムシ研究の展示・観察、佐高秘蔵の「特別天然記念物」の剥製展示など、他種多彩な展示が行われた。

会場には佐高生・附中生に加え、大勢の一般客が来てくださった。その数、合わせて**415名**。小さなお子さんからお年寄りまで、幅広い層のお客さんにカメや三杉川そのものに興味を持ってもらえたのは大きな収穫であった。

来場者の声：「川でカメを見たのは今まで一度くらいしかない。こんなにいるなんてびっくり」「ぜひ解剖を見たいと思っていたので、見れてよかった。」「部員の説明がわかりやすかった。」「カメがかわいかった」「トキは本物ですか？」「研究内容がすばらしかった。」など多数。



↑ヌマガエルの解剖
(20名以上の見学者があった)

↑生物部のポスター
(by 部長)

↑クサガメの解剖
(死亡個体であったため強烈な臭いに脱落者続出)